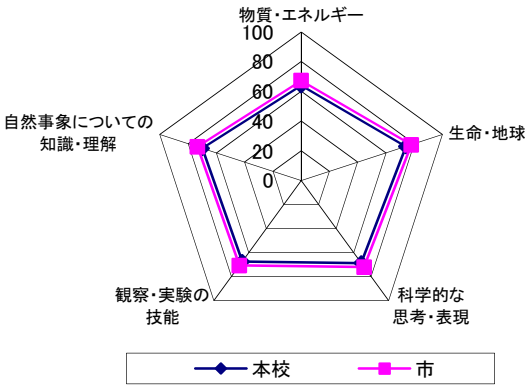


宇都宮市立新田小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	63.8	67.2
	生命・地球	74.1	77.9
観点別	科学的な思考・表現	68.7	72.0
	観察・実験の技能	67.5	70.7
	自然事象についての知識・理解	70.0	73.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・宇都宮市の平均正答率と比べ、3.4%下回っていた。ふりこの長さ1往復する時間との関係を調べるための比較実験を選択する設問での正答率が、市の平均よりも14.3%低かった。また、ふりこの1往復する時間が同じものを選択する設問での正答率が、市の平均よりも7.4%低かった。	・条件を統一することが実験の基本であることを踏まえ、実験の計画を立てる指導を徹底する。 ・複数のふりこが同じ1往復の時間であるのに、1つだけを選択している誤答が目立った。題意をよく読み取ることを指導するとともに、ふりこのきまりを複数の例を通してまとめる指導を行う。
生命・地球	・宇都宮市の平均正答率と比べて、3.8%下回っていた。「へそのお」と解答する設問での正答率が、市の平均よりも7.2%低かった。また、太陽の位置と月の形の関係を答える設問での正答率が、市の平均よりも6.9%低かった。さらに、生物の食べる食べられるの関係を答える設問での正答率が、市の平均よりも13.4%低かった。	・映像資料を使った学習や、レポート作成を通して、着実に用語を習得させる指導を徹底する。 ・月の形の変化の理由が月と太陽の位置関係で決まることを、実験や映像資料により理解させるとともに、ノート指導や問題練習での定着を図る。 ・食べる食べられるの関係を逆に答えている誤答が多かったことから、内容の理解よりも、設問の読み取りに問題があったと考えられる。丁寧に設問を読み解く指導を日ごろから行う。